

会議録	
会議の名称	第1回八千代町立中学校統合準備委員会
日時	令和7年7月15日(火)午後6時30分～午後7時16分
場所	八千代町役場 4階大会議室
出席者	委員 大久保委員、宮本委員、大久保委員、生井委員、上野委員 高野委員、相田委員、上野委員、斉藤委員、矢中委員 國府田委員、沢木委員、太田委員、坂野委員、篠山委員 田畑委員、松村委員、北島委員、川田委員、鴨目委員 木瀬委員
	事務局 関教育長、小林教育部長、関学校教育課長 秋葉学校教育課長補佐兼庶務係長、幸田主任
審議経過	
<p>1 開会</p> <p>司会(学校教育課長):足元が悪い中、ご出席いただきましてありがとうございます。それでは、定刻になりましたので、ただ今から第1回八千代町立中学校統合準備委員会を開会させていただきます。</p> <p>私、本日の会議の進行を担当させていただきます学校教育課長の関と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本会議につきましては、地域の方に広くお知らせするために、会議録を公表させていただきます。</p> <p>また、本日、町広報担当が写真撮影を行います。撮影した写真につきましては、広報誌やホームページ上で使用する場合がございますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>2 委嘱書交付</p> <p>司会(学校教育課長):はじめに、委嘱書の交付を行います。本来であれば、委員の皆様へ委嘱書をお渡しするべきところですが、進行の都合上、委嘱書の交付につきましては、委員21名を代表いたしまして大久保敏夫委員に交付させていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは、大久保委員、前にお進みください。</p> <p>【教育長から大久保委員へ委嘱書を交付】</p> <p>教育長:どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>司会(学校教育課長):なお、委員の皆様には、机の上に委嘱書を配付させていただ</p>	

いておりますので、後ほどご確認の方、お願いしたいと思います。

3 挨拶

司会（学校教育課長）：続きまして、野村町長よりご挨拶をいただきたいと思います。町長、よろしくお願ひいたします。

町長：改めましてこんばんは。野村でございます。本日は、先ほど司会の方からありましたが、お忙しい中、日中お疲れの中、そして足元の悪い中、この時間帯にお集まりいただきましてありがとうございます。

そして、第 1 回八千代町立中学校統合準備委員会という形でお願ひいたしましたところ、快く皆様にお引き受けいただきました。重ねてお礼申し上げます。

ただ今、関教育長より、皆様に委嘱書を交付させていただきました。これから長い期間になろうかと思うんですが、大きな、決して平坦な話ばかりではないという風に思いますが、なんとかひとつお骨折りいただきまして、より良い学校のためにご協力いただければと思います。

そしてまた、日頃から皆様に行政の運営につきましてもご理解、ご支援、ご協力を賜っております。併せて感謝申し上げます。ありがとうございます。

この学校の問題につきましては、私は令和 2 年の 9 月に就任させていただきました。その時も公約に、もうすでに少子高齢化時代をしなやかに、たとえ人口が減っても決して経済あるいは豊かさ、あるいはコミュニティ、そういうものに影響がないような、そういう町を作っていきたいということを掲げさせていただいてきたわけでありまして。

そして、その間に、コロナ渦になってから、令和 4 年の 10 月に学校のあり方検討委員会というものを立ち上げさせていただきました。過去に学校の問題について、このような会議を立ち上げるのは初めてであったかと思ひます。

その中で、八千代町の教育環境、学校、どうあるべきか、ということをお委員の皆様にお本当に真剣に、真剣にご協議、ご審議いただいたわけでありまして。本当に道しるべもない、誰も経験したことがないところを、多くの委員さんが本当につばを飛ばし合いながらといいますか、議論していただきまして、そして 1 つの導きを出していただいた。

それに基づきまして、今度は適正配置、適正規模、そういったものの案を示させていただきます。

そして、多くの皆様の、町民の皆様や先生方、保護者の皆さんの意見を聞き、パブリックコメントをいただきまして、そして、適正配置、適正規模、こういったものの案を示させていただきます。

その中で、中学校については令和10年4月を目途に、そして小学校についてはその3年後、令和13年4月を目途に、これは隣接型の小中一貫校として子どもたちの教育環境の整備を進めていこう、こういう案が示されたわけであります。

決まったのはそこまでです。今度はその目標に向かひまして、どんなところに配慮しなくてはいけないか、準備しなくてはいけないか、どうすれば可能か、目標が達成できるか、そういったところに、今度は細かい部分に入って行って、町民の皆さんにその考えを示さなければならぬ、そういう段階に入ってきたわけであります。

政府の見解によりますと、人口減少は政府が出した数字よりも15年も早く進んでいる。

今、この八千代町、2万1,000人の人口ですが、日本人だけで見ますと、すでにもう1万9,000人を割っています。

そして、子どもの数も、一昨年、昨年続けて80人でした。うち10人は外国人のお子さん。つまり、日本人のおさんは70人になる。

今年八千代一中に入学した子どもは100人、東中34人です。3年後は1学年合わせて100人を切ります。ずっと今度は100人を切る。何もしなければその状態が続くというかたちになります。

そうしますと、すぐに中学校を統合しても各学年3クラスというような状態になってくるというかたちで、私たちが最初に話したのは、子どもたちを、どういう子どもたちを、八千代町で生まれてくる、育つ子どもがどういう道を歩むべきかっていうものをやっぱり考えたいところがあります。

そして、大雑把な形ではありますが、自分たちで考えて自分たちで行動できる、たくましく図太い、そういう子どもたち、もちろん頭のいい子どもに越したことはないですが、これからの大きく変わるであろう社会環境の中で、それに適用する能力、図太さ、そういうものも必要であろうということを、前の赤松教育長や、隣におられます関教育長とも話を進めてまいりました。

つまり、八千代町で育つ子どもが、世界や日本で、あらゆる場所で育つ子どもたちと競合しても負けない、たくましい、そういう子どもたちの基礎をこの八千代町で学べるような環境を作っていこう、そういう考え方であります。

町は人が支えます、人は教育環境の中で育つ、こういう思いをしたことがあります。日野自動車古河市に来た時に、私たちは、あそこに2,500人ぐらい従業員がいるわけです。若い夫婦の方たちに、一人一人に面接をして、八千代町へ来てください、八千代町へ住んでください。そう言ったところ、日野市のご夫婦はこう言いました。教育環境がきちんとしていないと行けません。そういうことです。本当に悔しい思いをしました。

その時に、企業誘致もまちづくりも、教育環境がしっかりしていないと移住・定住は望めないっていうものをはっきり理解することができました。教育環境をきちんと

整えておくことが、町の魅力の大きな大きな財産だということを知らされたというわけであります。

企業誘致も、雇用の確保も、産業の発展も、商業の発展もセットだということです。教育環境をきちんと整えないと、これから人口減少の中を進む中で、より楽しい、より皆さんの住みよい町ができないという結論ということになります。

ですから、まだまだ多くの意見があると思います。なぜ合併しなくてはならないんだ、統合しなくてはならないんだ、いじめの問題や、統合することによる地域の交わりが分かれるのは色々なご意見も出ています。

しかし、それらを乗り越えても、やはり多様な考え方ができる、あるいは切磋琢磨できる、そういう人材が育つ、そのうち教育環境を作っていくべきだという風に私は思っておりますし、

そしてまた、議会の方でも、ご理解いただいて、予算の方も取らせていただいているわけであります。

これから皆さんに考えていただくこの統合準備というものについては、先ほど言いましたように、誰も歩んでない、誰も結論がわからない、そこに向かっていきますが、データと皆さんの豊富な知識、識見とそして情熱によって素晴らしい学校ができるように、お知恵を拝借し、取り組みいただきたいというのが私のお願いでございます。色々な意見があっても当然だと思います。ぶつかる時もあると思います。

建設的なご意見を頂戴しながら、八千代町の教育環境というものを、他に例のないような、そういう環境を目指してまいりたいと思いますので、どうか一つ、委員の皆様には最終最後までご努力いただくようお願い申し上げます、私からのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

司会（学校教育課長）：ありがとうございます。続きまして、教育長よりご挨拶をお願いしたいと思います。

関教育長：皆様、改めましてこんばんは。教育長の関でございます。

今日は、ご多用の中、そして天候が悪い中お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

また、町議会議員の皆様をはじめ、委員をお引き受けいただいた21名の皆様、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

ただ今町長から統合への思いというところでお話があったかと思っておりますけれども、やはり町の将来を考えて、というところでございます。町長の話もありましたが、しなやかにたくましく、そういう子どもたちを作っていく。

さらには、そういう子どもたちを作っていくには、やはり切磋琢磨した環境の中

で育てていきたい。

そしてさらには、これから生きていく子どもたちは、話し合いということで自分の考えを出しながら、いろんな人と多様な考えを共に磨きながら進めていきたい、そして自分というものが確立していくのかなという風に考えているところでございます。

今言ったような全てのベースはやはり人の数というところに行きつくところかと思えます。やはり小さな集団よりも大きな集団で子どもたちがのびのびと、そして競争しながら進んでいく。競争だけが良いということではないですが、その中で思いやりの気持ちや愛郷無限の気持ちを育めればなという風に思っております。

どうぞ、統合に関しては、様々な事案についてご検討、これからいただくことになるかと思えます。どうぞよろしく願いいたします。以上でございます。

司会（学校教育課長）：ありがとうございました。

4 自己紹介

司会（学校教育課長）：それでは、今回ですね、第1回目の会議ということで、委員の皆様にご自己紹介の方をお願いしたいと思います。

【委員順次自己紹介】

5 議事

司会（学校教育課長）：それでは、続きまして議事に入りたいと思いますが、八千代町立小中学校統合準備委員会設置要綱第6条第1項によりまして、委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、その議長となる。とありますが、本日は初めての会議でございますので、委員長それから副委員長が選出されておられません。

従いまして、委員長、副委員長が決まるまでの間、教育長に仮議長についていただき、進行の方、お願いしたいと思います。それでは、関教育長、よろしく願いいたします。

教育長（仮議長）：よろしく願いいたします。

ただ今、事務局から説明がありましたように、委員長、副委員長が選任されるまでの間、仮の議長を務めさせていただきます。

なお、会議が円滑に進行できますよう、皆様のご協力をよろしく願いいたします。それでは、進めさせていただきます。

まず、八千代町立小中学校統合準備委員会設置要綱第6条第2項に、会議は、委

員の過半数が出席しなければ、開くことができないと規定されております。委員 21 名中 21 名の出席ですので、本日の会議は成立いたします。

それでは、委員長及び副委員長の互選についてでございます。八千代町立小中学校統合準備委員会設置要綱第 5 条第 1 項において、委員会に委員長及び副委員長各 1 人を置き、委員の互選によりこれを定める。とありますので、委員の中から決定することになります。決定方法については特に決まりはございません。いかがいたしましょうか。

委員：事務局（案）があれば。

教育長（仮議長）：ただ今事務局（案）という声がありましたので、それでは、事務局（案）をお願いいたします。

事務局：はい。それでは、事務局（案）の方、申し上げさせていただきます。資料の 4 ページをご覧くださいませでしょうか。

事務局といたしましては、委員長は名簿番号 8 番の上野委員にお願いさせていただきまして、副委員長は名簿番号 13 番の太田委員にお願いしたいと考えてございます。

上野委員は、町内の児童生徒が多く暮らします中結城地区の高野行政区の区長さんでおられまして、日頃から地域で子どもたちの様子を見てくださっております。

また、区長親和会会長といたしまして、町内 62 行政区の代表を務めていただいております。

副委員長の太田委員におかれましては、東中学校の校長として日々子どもたちの成長を見守っていただいておりますので、事務局案といたしましてはこのお 2 人にお務めいただければと考えております。どうぞよろしくをお願いいたします。

教育長（仮議長）：ただ今事務局案としまして、委員長に上野委員、副委員長に太田委員にということでございますが、皆様、いかがでございましょうか。

【異議なしの声】

教育長（仮議長）：ありがとうございます。異議なしの声がございましたので、上野委員に委員長を、太田委員に副委員長をお願いしたいと存じます。

それでは、上野委員長からご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくをお願いいたします。

委員長：ただ今、八千代町立中学校統合準備委員会の委員長を拝命した上野でございます。議員さんや校長先生方がいらっしゃる中で大変おこがましいとは思いますが、長く行政にお世話になったわけでございますので、少しでも恩返しができるばという思いでお受けした次第でございますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、八千代町の中学校をひとつに統合するというこゝで、この準備委員会もひとつに、一致団結して進められたらと思ひます。どうぞご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

教育長（仮議長）：ありがとうございました。

それでは、委員長、副委員長が決まりましたので、この後の議事につきましては、委員長に議長をお願ひいたします。進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

委員長：それでは、着座にて失礼いたします。次第に従ひまして進めてまいります。引き続きご協力をよろしくお願ひいたします。

それでは、議事（2）これまでの経過についてですが、事務局より説明をお願ひいたします。

事務局：はい。（2）これまでの経過について、ご説明させていただきます。資料2ページをご覧くださいませうでしょうか。

こちらはですね、令和4年10月にですね、八千代町学校のあり方検討委員会を設立していただきまして、それから、令和6年11月までに、計6回の検討委員会と、3回の先進校視察を実施いただきました。そして令和6年12月4日に、八千代町学校のあり方に関する提言書の手交式がございました。それを受けまして、令和7年1月30日、総合教育会議を実施いたしまして、令和7年2月1日から2月17日までですね、パブリックコメントということで、広く意見の募集を行ひまして、令和7年2月25日、定例教育委員会で方針の策定にいたっております。

方針につきましては、ご覧になっていらっしゃる方がほとんどだと思ひますが、本日の別紙の資料に方針をつけてございますので、ご確認いただければと思ひます。

また、資料にはございませんが、令和7年5月15日、18日、25日にですね、こちらの方針についての住民説明会を行ひまして、令和7年7月11日に、川西小学校で、学校の統合と、川西小学校の今後の入学予定者数の状況について説明をさせていただきます。

なお、5月の住民説明会で説明した内容等は、教育委員会のホームページに掲載してございますので、ご確認いただければと思ひます。

これまでの経過についてのご説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

委員長：ただ今の説明に対しまして、ご質問等ありましたらお願いいたします。

【質問なし】

委員長：質問がなければ、これまでの経過を踏まえながら、統合準備委員会においても慎重な検討をよろしくお願いいたしますと思います。

それでは、次に移らせていただきます。(3) 専門部会の設置について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局：はい、(3) 専門部会の設置についてご説明させていただきます。資料 3 ページにお進みいただけますでしょうか。

こちらはですね、八千代町立小中学校統合準備委員会設置要綱の第 7 条第 1 項に、委員会は、第 2 条に掲げる事項について調査検討を行うため、専門部会を置くことができる。とございます。効率的に検討を進めていただくために専門部会の設置をさせていただきたいと考えております。

資料の 3 ページにですね、八千代町立中学校統合準備委員会組織（案）の方、記載してございますが、本日お集まりいただいております統合準備委員会の下部組織といたしまして、専門部会として 3 つ部会を設置させていただければと考えております。通学安全部会、学校生活部会、総務部会の 3 つの部会を設けまして、調査検討をいただきたいと考えております。

まず、通学安全部会では、通学路やスクールバスなど通学支援に関する内容について調査検討をいただきたいと考えております。学校の先生や保護者の代表、学校運営委員会の代表の方々に部会に入らせていただきたいと考えております。

次に、組織図の真ん中の学校生活部会では、教育目標をはじめ、学校内部の検討事項について、学校の先生を中心に調査検討をお願いしたいと考えております。

最後に、総務部会ではですね、新設校の学校名や校歌、校章、制服などについて調査検討をいただきたいと考えております。学校の先生や保護者の代表、学校運営協議会委員の方にご協力いただき、慎重な調査検討をお願いしたいと考えております。

以上、3 つの専門部会でですね、それぞれ検討を進めていただきながら、定期的に準備委員会の方に進捗の報告等をいただく体制でお願いできればと考えてございます。

事務局の説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

委員長：ただ今の説明に対しまして、ご質問やご意見等がありましたらお願いいたします。

【質問なし】

委員長：はい。それでは質問がないようですので、事務局の説明の通り専門部会を設置するというところでよろしいでしょうか。それでよろしければ、専門部会の設置について事務局の説明の通り決定いたします。(3)の(案)を取っていただければと思います。

それでは次に、議事(4)専門部会委員の任命について事務局より説明をお願いいたします。

事務局：はい。ご説明させていただきます。八千代町立小中学校統合準備委員会設置要綱第7条第2項にはですね、専門部会は、委員長が任命する部会員をもって組織する、とございます。委員長より、専門部会ごとの部会員の任命をお願いしたいと考えてございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

委員長：はい。ただ今説明がありましたが、私も、委員長を引き受けたばかりで専門部会員の案があるわけではありません。そのため、事務局の案がありましたらお願いしたいと思います。

司会(学校教育課長)：それでは、専門部会員の任命について、事務局案をお配りさせていただいてよろしいでしょうか。

委員長：はい、お願いします。

【事務局：専門部会員(案)配付】

事務局：ただ今、お配りさせていただきました専門部会員の事務局(案)でございますが、まず、通学安全部会の方に19名、学校生活部会に30名、総務部会に19名を推薦させていただきたいと考えております。校長先生と教頭先生には複数の部会の兼務をお願いする部分もございますが、計59名の方に専門部会員として、統合の具体的な内容を調査検討させていただきたいと考えてございます。

事務局の説明は以上でございます。ご検討の方、よろしくお願いいたします。

委員長：ただ今事務局より説明がありましたが、この案でいかなものでしょう。

【異議なしの声】

委員長：それでは、お手元に配付をいたしました名簿のとおり、決定とさせていただきます。よろしくお願いします。

委員 A：これは、事務局から今、名簿が配られて、この中で委員が構成されて動いていくと、こういう部会があると、これによると、名簿を見ると大体あて職でなってるわけなんで、あて職でなんらかの形で定年あるいはまた退職、あるいはその職が交代した場合は、これは、どういう風な形でやられますか。

教育部長：はい、校長先生、教頭先生、先生方は人事異動があると思いますので、交代はいたし方ないと思われま。

また、保護者代表の方につきましては、できれば検討が終わるまでやっていただきたいと考えております。

あと、学校運営協議会委員の方につきましても、同じように検討が終わるまでお願いできればと考えております。

委員 A：いいですか。そうすると、どういう解釈をするかなんだけど、今、名簿に入っている人がいますよね。それで、その人が今の職や立場から離れても、そのまま委員や部会員はついてまわっていくと、そういう解釈でいいですか。

教育部長：ご事情で続けられないという方は役職で次の方に交代していただきまして、できるならば同じ方にずっとやっていただきたいという、事務局の方では考えております。

委員 A：同じ方で、というのは。

教育部長：変わらずに。

委員 A：例えば中結城なら中結城、下結城なら下結城の PTA 会長がこの中にいるとして、PTA 会長が交代したら、新たな方がこの委員としてなるんじゃないかと、その人がやめてもついてまわっていくと解釈していいですか。

教育部長：はい、そのとおりでございます。ただし、続けられない理由がございませ

たら、その役職で次の方が変わっていただいても結構だと思っております。

委員 A：なるほど。大体よくわからないけれども、急に言われたので事務局も構えてしまいましたかね。はい、分かりました。

委員長：はい。それでは、専門部会員の任命について、お手元に配付しました資料のとおりということでもよろしくお願ひしたいと思ひます。

次に、次第（5）の今後の予定ですが、事務局より説明をお願ひいたします。

事務局：はい、ご説明させていただきます。

今後の予定についてですが、今後、本日選任いただきました専門部会の組織で、各部会ごとに会議の方開催させていただきまして、その部会の部会長と副部会長を決定させていただきたいと考えております。

併せまして、スケジュール等も作成し、専門部会にて今後協議を進めていただきたいと考えております。

そこで、本来でありましたら、各専門部会の部会長、副部会長が決定した時点で、統合準備委員会を開催してご報告をするべきではございますが、委員の皆様のご負担を考慮いたしまして、各部会の部会長、副部会長につきましては、書面による報告とさせていただけたらと考えております。

また、部会の進捗状況につきましても、定期的に、この統合準備委員会の皆様に、進捗等、定期的にご報告させていただきたいと考えておりますので、これからどうぞよろしくお願ひいたします。

今後の予定について、説明は以上でございます。よろしくお願ひいたします。

委員長：ただ今の説明に対しまして質問、ご意見等ありましたらお願ひをいたします。

委員 B：ちょっと話が戻っちゃうんですけど、PTA 会長が変わっても継続してほしいって話あるじゃないですか。あれはなぜ継続してほしいってことになったのかだけ教えてください。

教育部長：やはり会議の経過が同じ人の方がこう分かっていて、会議の方もスムーズに進むのではないかとということで、できれば 3 年間、統合までやっていただきたいなっていう思ひはございますが、ご事情により次の PTA 会長さんに譲られるという場合には、それまでの経過等もちょうで簡単に説明させていただきまして、新たな委員になっていただきたいと思ひます。

委員 B：わかりました。ありがとうございます。

委員 A：これは、あて職の方が良いのではないか。どうなんでしょうか。

委員 C：経過がわかっている、その、この期間があって、経過を最初から、確かに引き継ぎ以降で分かればとも思うんですが、じゃあ、やはりこうずっと初年度と実際の会議の雰囲気というのはまた違うものもあるかと思ひまして、できれば、その方のご事情があるので、事務局の方もできましたらということで、その辺はその方の事情を踏まえた上で、というようなお願いだと思ひますので、その選択肢はその方にこうお任せしてもいいのかなと思うんですが。

委員長：今のお話ですと、今回はあて職でも、引き続き 3 年間やっていただくと、職が変わってもやっていただくと。

ただ、その人その人の事情でどうしても交代せざるを得ない場合は、それもやむを得ないということですよね。そうであれば、今の事務局の案でも大丈夫ではないかなと思うんですが、いかがでしょう。

【了承する声】

委員長：では、そのようなことでお願いしたいと思ひます。よくよく考えたら私も区長任期が 2 年なんだけど、1 年余計にやるのかなって話はしていたんです。そういうことなので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

はい。じゃあ、それでは、他に意見がなければ、以上で議事を終了させていただいて、進行を事務局の方へお返しいたします。ご協力ありがとうございました。

司会（学校教育課長）：委員長、ありがとうございました。

6 その他

司会（学校教育課長）：それでは、続きまして、その他ということで、事務局の方から 3 点ほどご連絡させていただきたいと思ひます。

事務局：はい。事務局より 3 つご連絡いたします。

まず、1 点目です。学校の統合にあたりまして、地域の皆様に進捗状況などを広くお知らせしたく、会議の冒頭にもお伝えはさせていただいたんですけど、この統合準備委員会の会議録の公表につきまして、ご了承いただきたいと思ひます。会議録の

方作成いたしましたら、委員長、副委員長にご確認をいただいた後、町のホームページにて公表させていただきたいと思っております。

また、併せてですね、統合準備委員会の通信、皆さんに見ていただけるものを発行したいと思っております。発行にあたりましては、こちらも委員長、副委員長に相談しながら、内容ですとか発行時期であったりとかを決定させていただきたいと思っております。

次、2点目です。委員謝礼についてです。委員謝礼として、日額2,300円をお支払いいたします。つきましてはですね、お手元に確認書を皆さんの机の上に置かせていただいております。そちらにですね、振込口座をご記入いただきまして、あと、マイナンバーカードの写しですね、添付いただきまして、お手数ではありますが、7月31日までにお付けした返信用封筒にてご提出くださいますようお願い申し上げます。ご提出いただきましたら、後日、ご指定いただいた口座の方にお振込みさせていただきます。よろしくお願いたします。

最後に、3点目ですね。次回の統合準備委員会の開催についてです。専門部会の会議の進捗状況により開催したいと考えてございます。そちらにつきましても、委員長、副委員長に相談の上、会議の開催につきましてはご案内させていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。事務局からの連絡、以上でございます。よろしくお願いたします。

教育長：もう1点、付け加えさせていただきまして、大変慎重なご審議、ありがとうございました。ただ今、事務局の方から、会議録を公開するというお話ございました。これは公開させていただきますし、統合準備委員会通信でも発行したいと考えておりますが、この会議の中で、皆さんも重々お分かりかと思いますが、本当に失礼な言い方でございますが、ぜひ、守秘義務をお守りいただきながら進めていただければというところを、もう一度確認させていただきたいと思っております。具体的に言いますと、どの委員さんがこう言った、などは会議録の中では出てまいりませんので、誰が言ったかは分からないけれど、というところの配慮がございます。そういう意味で、守秘義務もお守りいただければという風に考えているところでございます。どうぞよろしくお願いたします。

司会（学校教育課長）：はい。それでは、ただ今のその他の事務局からの説明につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

【質問なし】

司会（学校教育課長）：はい、ご質問がないようでございますので、委員の皆様には、長時間にわたりまして慎重なご審議いただきまして、ありがとうございました。

7 閉会

以上を持ちまして、第 1 回八千代町立中学校総合準備委員会を閉会とさせていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。ありがとうございました。